

チェックリスト

- 「結論」が的確にまとめられているか。
- 「結論」の長さは適切か。日本語に誤りがないか(論旨、文法、単語)。
- 「結論」と「実験結果」の整合性がとれているか。
- 「結論」を導くために必要十分かつ適切な「実験結果」の表現が過不足なくされているか。
- 「実験結果」はわかりやすく、見やすく、正確に表現されているか。
- グラフの軸、表の項目、グラフや表のタイトルに漏れはないか、適切か。
- 有効数字は適切か。単位が漏れていないか。
- (写真を用いる場合) 写真の明るさやコントラストは適切か。
- 「実験結果」を得るために必要な「方法」が過不足なく表現されているか。
- 「目的」が明記されているか。「目的」と「結論」の整合性がとれているか。日本語が適切か。
- 「なぜこの目的で実験をしたか」が「背景」に的確に表現されているか。日本語が適切か。
- 必要に応じて適切に参考文献の引用情報が記述されているか。

参考文献：議論の裏付けを与えるものであるから、実験題目に関係がある文献を偏りがな
いようにできる限り引用する。文献の表記方法を参考として下記に記述しておく。

 - 1) 著者名、書籍名、発行所、ページ、発行年
 - 2) 著者名、雑誌名、巻、号、ページ、発行年
- 全体としてわかりやすいか。
- 「背景」が1ページを超えていないか。
- 「実験方法」が1ページを超えていないか。
- 「結論」が100字程度で記されているか。